

第31回 経営協議会議事要録

日 時 平成22年3月18日（木）13時30分～14時50分
場 所 事務局第二会議室
出席者 宮田亮平学長、三浦春政理事、玉井賢二理事、
池田政治美術学部長、植田克己音楽学部長、
海老澤 敏委員、佐々木正峰委員、
高階秀爾委員、中村胤夫委員、
末永壽男会計課長
監事：中島尚正監事、竹内雄也監事
欠席者 石田義雄委員、根本二郎委員

議題

1. 平成22年度予算編成方針（案）について
議長から標記のことについて提案があり、三浦理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
2. 平成22年度収入・支出予算（案）について
議長から標記のことについて提案があり、三浦理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
3. 平成22年度 国立大学法人東京芸術大学年度計画（案）について
議長から標記のことについて提案があり、三浦理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
4. 東京芸術大学職員給与規則等の一部を改正する規則等の制定について（案）
議長から標記のことについて提案があり、三浦理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
5. 東京芸術大学経営協議会規則の一部を改正する規則の制定について（案）
議長から標記のことについて提案があり、三浦理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
6. 平成22年度 東京芸術大学公開講座実施計画について
議長から標記のことについて提案があり、三浦理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。
7. その他 特になし

報告及び連絡事項

1. 平成20年度決算剰余金の繰越承認について

標記のことについて、三浦理事から、資料に基づき報告があった。

2. その他

(主な意見)

- ・一般大学では就職が決まらず留年する等、学生の就職に苦労していると思うが、芸大の対応としては、同窓会組織が卒業生の就職支援等のバックアップをしてはどうか。
- ・大学の社会的貢献度では、芸大は大きな評価を得ていると思う。しかし、今後は専門教育と同時に総合的な人間性を教育することが大事である。また、地域の文化拠点としてだけでなく、日本における文化拠点として社会貢献してもらいたい。
- ・演奏芸術センターには研究機能はないのか。美術分野には美学があるが、音楽分野には相当するものがない。楽器博物館を設立し、芸大で音楽分野の学問をぜひ実現してもらいたい。

○議長から、下記のとおり今年度末で退任される委員等の紹介があった。

外部委員 海老澤 敏委員、佐々木正峰委員、根本二郎委員

内部委員 玉井賢二理事

陪席者 守山光三学長特命

○美術学部長から、机上配付資料「いま 天心を語る」及び「上野タウンアートミュージアム 8プロジェクト+記録概要集」について報告があった。